



令和5年度
スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出等総合推進事業

別添報告書④
スポーツツーリズム・ムーブメントの創出
イ 武道ツーリズム・ネットワークの強化及び認知拡大

令和6年3月29日
Jtb Communication Design
株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

全体概要

令和4年度事業における振り返り

- ✓ 武道ツーリズムに関わる情報発信や、参画・連携促進施策を行ってきたが、まだまだ旅行・武道業界全体への認知度は高くなく、**ポテンシャルを持つ地域・団体の開拓余地は十分にある。**
- ✓ これまで実施してきたネットワーク促進において、一部先駆者や特定の武道団体の情報発信が主となっており、インバウンド復活期において**多種多様な団体にとって参画しやすい、ネットワーク（環境）の再構築が理想**
- ✓ 武道施設情報やコンテンツ事例等は発信しているが、各地域・団体が具体的に取組検討を行う際に、さらに**どのような情報支援が必要かを考えていく必要がある。**

令和5年度事業における実施ポイント

構築・広がりが見られ始めた武道ツーリズム・ネットワークを今後、さらに拡大していくための施策を展開**①これまでに発見した先駆的な取組みの再取材と情報発信の実施**

地域で合意形成を図り、具体的なコンテンツ造成、販売チャネル構築を行うにあたっては、コンテンツ事例や武道場情報等に加え、旅行会社や指導者等の連携先となる「人・組織」等の情報や、各地でコンテンツが創出された背景やストーリーを伝え、共感醸成とノウハウ提供を図った。

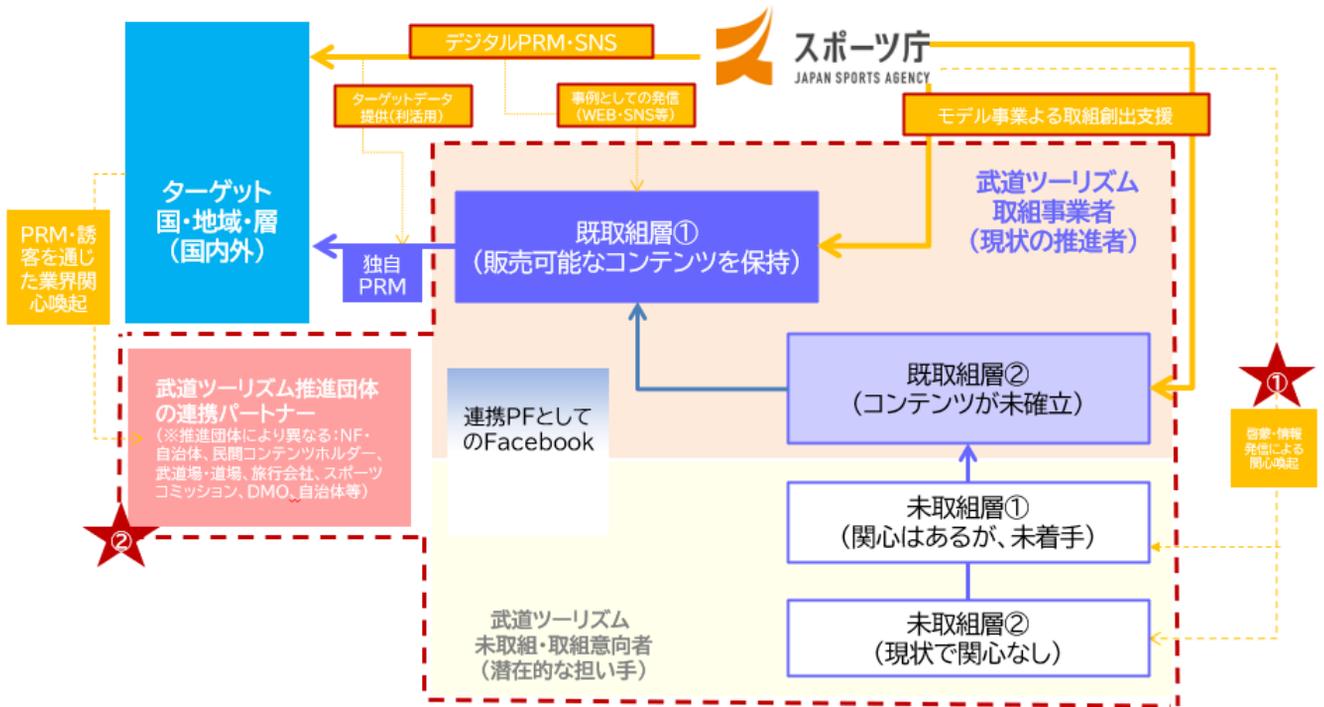
②武道ツーリズム推進ネットワークの再定義

本格的なインバウンド復活を迎えるタイミングで、各地の取組者・関係者間のネットワークを再定義し、「武道ツーリズム推進ネットワーク」をFacebookの場だけでなく、より繋がりがやすく・参加しやすい、武道ツーリズムの本格発展に向けた推進体制・仕組みとして整理した。

③武道ツーリズムシンポジウムの開催

再定義したネットワークを土台とし、参画メンバーへの知見・最新動向の提供、ネットワーキングの強化、及び武道ツーリズムの認知拡大を目的とした「武道ツーリズム・シンポジウム」を開催した。

推進・支援体制



推進・支援拡充の方向性

- ①: 武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」
- ②: 既取組者・未取組者・連携団体も交えた「広範・闊達なネットワークの形成」

取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

① 武道ツーリズムB2Bページ更新 (取組紹介ページから事業者向けページへのリニューアル)

武道ツーリズム取組者の拡大に向け、未取組者への情報支援による関心喚起を目的に、スポーツツーリズムサイトの武道ツーリズムページの改修を行った。

具体的には、昨年度まで「武道ツーリズムの取組紹介ページ」として設定していた武道ツーリズムの下層ページを、武道ツーリズムに取組んでいる事業者、あるいはこれから取組む事業者向けの「B2Bページ」に修正し、事業者が武道ツーリズムを推進する上で必要な情報発信を行うページにリニューアルした。



武道ツーリズムの取組

スポーツ庁では、スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れ、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむ「スポーツツーリズム」等を通じて、交流人口の拡大による地方創生・まちづくりを推進しております。

2018年度より、世界の関心が高い日本発祥の「武道」を活かした、希少性の高い「武道ツーリズム」を提唱し、2020年3月に「武道ツーリズム推進方針」を発表しました。

この推進方針では、目指すべき姿として「武道が日本発祥であることの国際的認知（プレゼンス）の向上」、「武道によるインバウンド訪客の促進と地域活性化」、「武道体験を通じたファン層等の拡大による日本の精神・文化の国内外への普及・発信」の3つを掲げております。

Instagram「武道ツーリズム～Budo Tourism～」
国内外の武道に関心がある層への情報発信を目的に、Instagramで「武道ツーリズム～Budo Tourism～」のアカウントを開いています。フォローをお願いします！



取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

②「武道ツーリズム事例集」のB2Bページ掲載

令和4年度に制作した事例集は、体験内容だけでなく、取組背景や運営体制、造成時のポイント等、各団体や事業者の参考となるビジネス視点の内容であるため、B2Bページに掲載し、閲読を促す。

【現時点での掲載予定内容】

- 1. 基本情報
取組みの背景／武道との関連性
- 2. 具体的な取組み
造成した商品内容／造成時に重視した点
モデルツアー実施による考察
- 3. 体制・運営情報
運営体制／運営上の課題



取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

③取組者・関係者へのインタビュー記事の掲載

各取組の詳細な推進経緯（合意形成、苦労した課題やどのように乗り越えたか？）等はレイアウトの固定された事例集では紹介しきれない。

そこで、各地で推進団体・武道団体・旅行事業者等が連携して取組を創出したストーリーを「インタビュー記事化」して、B2Bページに掲載。
既取組者にも直面した課題があり、乗り越えてきたことを伝えることで、未取組・取組意向者へ共感とヒントを与える。

令和3・4年度に、各地での武道ツーリズム取組者＋地域の関係者に参集頂く「グループインタビュー」を2か年合計で46件実施。

➡これまでのグループインタビュー対象の中から、昨今の取組進捗が見られるグループへ、新たなWEB記事用インタビューを依頼する。（※3件程度を想定）

PICK UP 取組者・関係者インタビュー



合気道と熊野古道
唯一無二の資源でまちに変化を

- ✓合気道 ✓民間企業 ✓和歌山
- ✓屋内 ✓英語OK



地域資源と武道を組み合わせ
いち早く武道ツーリズムに着手

- ✓弓道 ✓武道 ✓外郭団体
- ✓石川 ✓誘致・誘客



事業拡大に向けて
地域・道場を巻き込んでいく

- ✓武道 ✓外郭団体 ✓石川
- ✓地域・道場の連携

取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

③取組者・関係者へのインタビュー記事の掲載

株式会社TABIKYO JAPAN

【12月4日（月）公開】

- ・ 2022年度モデル事業
- ・ 武道中心のコンテンツ（武道ゆかりの地コンテンツ）形成事例
- ・ 外部から地域へのアプローチ、合意形成に取組んだ事例として紹介

—— 実際に事業に取り組んでみて良かった点や苦勞した点は？

外部の人間である私たちだからこそ、この事業を世の中に届けるためにはどうしたら良いか、来てもらうためには何が適正なのかをしがらみに囚われず、シンプルに考えられたところが良かった点だと思います。その中で気が付いたことが3つあります。1つ目は合気道関係者から誹謗をいただくために、パンフレットや映像などは全て事前チェックをお願いしました。2つ目は映像など世に出すものは、プロでなければできない高いクオリティで作り、関係者の期待を少しでも上回ることを大事にしました。3つ目はコミュニケーションの細かさや、適切なタイミングで連絡することを心がけました。

これらを積み重ねて事業を行なった結果が実を結び、既にお客様が来ています。外国からだけでなく、日本人のお客様の利用もありました。結果が出るまでに10年20年かかってもおかしくない事業だと思っていたので、合気道の先生はじめ、地元の事業者や市の関係者が喜んでくれていま

—— 今後の取組について考えていることは？

合気道を好きの方に、合気道のツーリズムとして田辺市に来てもらえるように整備していきたいです。そのために、今期は合気道や武道のコアなファンが喜ぶ1段階踏み込んだプランも作りました。合気道単体を楽しむもので、地元の合気道の先生と繋がって、より合気道を知っていただけるプランです。

実際、田辺市内を外国人が歩いていたら地元の人が武道館まで連れていってくれるという、行動の変化が起きているんですね。ツーリズムを通して訪れた方に田辺市のことをよく知ってもらい、体験に感動する人が増えれば、地元の人もプライドを持ってますし、田辺市のことをもっと好きになる。そうすれば、都会に出ていった若い人たちも帰って来るようになり、田辺市が一層魅力的になっていく。こうした「好循環の川」になるための最初の一半になれるように取組んでいます。

—— 検討している事業者へのアドバイスはありますか？

武道や伝統を既に扱っている事業者と連携し、相談したりアドバイスをもらったりするといいたいです。自分たちの考え方だけでは思えないこともあるはずなので、武道ツーリズムのネットワークを構築し、武道ツーリズムを通して広がる未来を地元の事業所や関係者に向けて伝えてあげることが大切なのではないでしょうか。



和歌山県/合気道（一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー）

取組事例集
(PDF)

戻る >



—— 2022年度のスポーツツーリズムコンテンツ創出事業に採択された取組事業の内容は？

まず当社で行なっている事業は主に3つあり、1つ目は海外の富裕層向けに文化体験や旅行手配を通して地域を知るためのより一歩踏み込んだ旅を提供しています。2つ目は地域をプロデュースし、観光手法を用いて地域創生を後押しすること。そして3つ目は現場ガイドに関わる事業です。

今回の取組事業では、熊野古道という唯一無二の観光資源がある田辺市で、観光と合わせて合気道を楽しめるようツーリズム化しました。具体的には、合気道体験と熊野古道が両方体験できる2泊3日のセットプランです。こちらは合気道に触れたことのないライト層向けのプランで、「日本の精神性」という大きな括りや興味を持っていらっしゃる方たちに喜んでいただけるものになっています。



—— スポーツツーリズムコンテンツ創出事業への応募のきっかけは？

当社は京都を拠点としており、以前から熊野エリアにもお客様をお連れしていたこともあり、田辺市と繋がりを持っていました。エリアへ何度か通ううちに、「田辺市は合気道創始者である植芝盛平氏の生誕地なのに、愛好家以外にはあまり知られていない」という声を地元の人たちから聞いていました。

僕らのチームの中に、富裕層の観光ガイドをしながら合気道を嗜むフランス人の仲間がいるのですが、彼がアドバイザーとしてれば合気道をツーリズム化できるのではと思い、スポーツツーリズムコンテンツ創出事業に応募しました。熊野古道のある田辺市とは以前から繋がりがありましたが、田辺市が持つ合気道という文脈、アドバイザーに最適な人材等、これらの要素があれば田辺市で武道ツーリズム化を推進できると考え、実行しました。

—— 事業をスタートする際に苦勞した点は？

まずは価格設定です。従来、伝統あるものに価格を付けることはタブーとされてきました。とはいえ、ボランティアだと持続可能にならず、消えていってしまう可能性もあります。このタブーに踏み込んだのは、田辺市の外部から来た私たちだからできたことでした。私たちは元々外国人富裕層に向けたコンテンツ提供をしていたので、彼らの価格感は知っていましたし、説得力を持って伝えられました。それができたのも、先に述べた外国人アドバイザーがいたから取組を進めるにあたってそれほど重要なことでした。価格についてはドルやユーロで計算し、アドバイザーの彼から適正だと説明することで、関係各所にも納得していただくことができました。

取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

③取組者・関係者へのインタビュー記事の掲載

金沢文化スポーツコミッション/
前編・武道ツーリズム始動期

【2月20日（火）公開】

- 2022年度モデル事業者
- 観光順応型コンテンツの形成事例
- SCが武道ツーリズムに着手し、地域内で合意形成をはかった事例として紹介

金沢文化スポーツコミッション
平八郎氏

DATA

- 本任開始: 石川金沢国際空港ビル1-1 (金沢市役所第一庁舎2F)
- 創業年: 2018年
- 事業内容: 文化・スポーツ大会の誘致 (個人・団体) 事業への関与 (個人・団体) (伝統文化・民俗)

地域資源と武道を組み合わせ
いち早く武道ツーリズムに着手

全国的にもいち早く武道ツーリズムに力を入れてきた金沢文化スポーツコミッション。その代表である平八郎氏は、元ホテルマンとしてのビジネス経験や豊富な人脈を生かし、スポーツイベントのコンテンツ制作から誘致まで、ゼロから作り上げました。平氏の取組についてQ&Aでご紹介します。

— 金沢文化スポーツコミッションとは？

金沢で開催されるスポーツ大会の誘致・誘客を行なっている組織です。2018年に発足し、小学生のサッカー大会から日本マスターズの水泳大会まで、さまざまな規模の大会をサポートしています。また、大会の普及や大会を通しての交流促進、金沢ならではの文化を発信していくことも目的としています。

当組織の特徴としては、スポーツ大会の誘致だけでなく、参加者向けに金沢文化の体験を組み合わせて展開している点にあります。例えば、大会に出場する学生向けに、各都府県体験や加賀八幡餅の給付体験といった、体験のおもてなしをしています。学生たちは全国各地で試合を行っているので、どの試合まで行ったか思い出せないことも多いと聞きます。ですので、「金沢体験を思い出して、あれっどこでやったっけ？」というところで、金沢を思い出していただけたらな。楽しい思い出になっていたら、今度は家族旅行などで来てくれるかもしれませんよね。その後の観光効果も見えるながら、金沢ならではの「おもてなし」で、皆様をお迎えしています。

— 武道ツーリズムに着手されたきっかけは？

スポーツ庁で武道ツーリズムが推進され始めたころから、私たちは金沢の武道に着目していました。ちょうど当組織が発足した年に、全日本武道連盟が全国から選手を集めた弓道大会を開催するという話を聞きました。ぜひ私たちに大会を誘致させてほしいとお伝えしました。初年度のため予算はなかったのですが、大会への出資先を見つけ、2018年10月に「全日本弓道連盟選手権大会」を開催、石川県弓道連盟が70周年の節目の年だったこともあり、とても素晴らしい大会になりました。その後も武道で金沢をもっと盛り上げられないかと考えていたところ、金沢の武道ツーリズム推進とスポーツ庁の武道ツーリズム推進のタイミングが重なったことも重なって、後押しされていきました。



— 金沢文化スポーツコミッションの武道ツーリズムの特徴は？

弓道と合わせて金沢ならではの文化を体験してもらいたいと思い、神と茶道を組み合わせたプログラムを考えました。まず、なぜ神かという点、西洋に神を祀った鈴木大雅氏が金沢出身だからです。鈴木大雅氏は日本人にはあまり知られていないかもしれませんが、アメリカやヨーロッパでは名の知れた人物です。金沢には「鈴木大雅」があるので、そこで神の精神に触れることができます。もう一つ、茶道体験を取り入れたのは、加賀藩・御田村家が干利休に御事したことから、金沢では古くから茶の湯の文化が発達しているためです。現在もお茶会が盛んに行われています。



和菓子も有名です。弓道についても改めて調べてみると、江戸時代に金沢出身の武将が京都で開かれた弓道大会で優勝していたようなんですね。また、石川県には旧町名も含め、「弓」の付く地域が7つもあるなど、弓道も金沢の深い繋がりを感ずりました。これらのストーリーを踏まえて、弓道で汗を流し、抹茶や茶道で日本文化を体験してもらおうと、金沢らしい武道ツーリズムになるよう考えてプログラムを作りました。金沢でははかにも多くの武道を体験することができます。

— 地域の武道関係者など、周りの理解を得るために苦労したことは？

武道ツーリズムのプログラムの動き始めで課題となったのが、ビジネスとして成り立たせる理解を得ることでした。茶道については、普段から教室を開いている先生にお話をしたので問題はありませんでした。ですが、武道に携わる団体の多くは、ビジネスを目的として活動されているわけではないので、ご理解いただくのに時間がかかります。民間企業がなぜ事業を継続できるかという点、ニーズのある事業を行い、売上が上がることで利益が出るからですね。ですので、まずはビジネスとしての仕組みを作っていかなければ継続することはできません。特に武道を指導されている方々は「ビジネスとして扱っているわけではない」という感覚の方が多かったので、ご理解いただくよう何度も直接お話しに伺いました。

— 武道ツーリズムを実行される上で、ほかに解決すべき点や良かった点は？

例えば、弓道場から教えるからには弓道の基礎となる「射法八節」を伝えたいという申し出があったのですが、外国の方にも参加してもらえようにするためには、それをまず英文にしておく必要がありました。また、弓道を指導する際の知識の提供もありました。地元で英語で金沢の紹介をしている人がおり、英語に関してはその方の年を借りることで解決しましたね。このあたりは、つぎのステップで、最終的には「板やってみよう」というので、2019年9月25日から10月4日まで7日間受け入れを行いました。この期間はラグビーワールドカップが開催されており、外国人観光客を誘致するには最悪と聞かされたので、結果的に販売額が思ったよりも高かったのですが、コロナ禍でも日本人観光客に向けて武道ツーリズムの促進を検討しています。その後一時止まりましたが、現在は民間事業者から商品化の申し出があり、販売も再開されているようです。スポーツには人を呼び寄せる力があります。特に武道はインパクトに有効な切り口になります。利用者が定以上に伸びていくことで多少時間がかかることもあるかもしれませんが、うまく誘致できれば観光にも繋がりますし、スポーツ大会の誘致に結びつくと経済効果も大きく感じます。少しずつ積み重ねていくことが大事ですね。

— 武道ツーリズムを行う上で大切にしていることは？

武道を含め、スポーツを活用した地域振興が効果的なことは分かっていても、どんな手段でそれを行い運ばれる方も多くあります。大切なことは、自分たちの地域の強みを理解し、コンテンツに組み込むことです。日本は、江戸時代には200を超える(藩) (金沢)にありましたが、どんな地域にも必ず自分強みがあるはずで、それをスポーツとコラボさせること。スポーツはルールが同じであれば全世界まで行っても同じことができます。ですが、地域の強みや地域振興はその土地にしかない強みです。スポーツを軸にして、そこに地域の個性を加えることで、その地域でしか体験できないものを作ることができます。これが、私たちがコンテンツを作る上で大切にしていることです。

もう一つ、「スポーツを楽しむ」ということも大事です。主催する側が楽しむのを考えてアイデアを考えていても、参加者が楽しめるものにはなりません。徹底的に楽しいアイデアを考えることが大事です。当組織は毎年、小学生のサッカー大会を開催していますが、前年と同じ企画を行うのは嫌なので、新しい企画をいつも考えています。今年は会期中で旗を飛ばすオープニングを企画しました。これも、当組織のスタッフから出たアイデアで実現したことです。できない理由を考えず、今までにない新しいアイデアにチャレンジしていくことが、皆様に楽しんでもらえた「おもてなし」になると考えています。



石川/弓道 (金沢文化スポーツコミッション) ▶

取組施策

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

③取組者・関係者へのインタビュー記事の掲載



金沢文化スポーツコミッションの統括マネージャーとして、立ち上げから携わってこられた里見浩次郎氏。2019年より事業を開始した武道ツーリズムはコロナ禍で一時的に止っていたものの、2022年から再スタート。再開されるにあたってどのような方法で事業を進めてこられたのか、Q&Aでご紹介していきます。

— 2022年、コロナ禍で一時的に止っていた武道ツーリズムに再び取り組まれた経緯とその内容は？

金沢文化スポーツコミッションでは、2019年に弓道での武道ツーリズムをスタートさせました。ですが、翌年からコロナ禍となり、活動できなくなりました。コロナの状況が少しずつ落ち着いてきた2022年頃、スポーツ庁で推進している武道ツーリズムを念頭に少しでも少しずつ進めたいということになりました。

しかし、いきなり動き出すのではなく、まずは金沢市内にどんな武道教室があるのか、というところからリサーチしていききました。具体的には、空手や合気道、柔道、弓道など計7つの武道をピックアップし、各連盟や協会の方にお会いして道場や教室の情報を伺っていききました。それだけでなく、インターネットでも情報を収集しました。武道ツーリズムに繋げるには初心者向けの教室を開いていることを必須の条件と考え、リストアップしたあとは各道場へ一軒一軒に連絡を取り、「道場へ回教を聞いているか」「初心者の受け入れ体制はどのようにしている、どの時間帯で受け入れられているか」などを聞いていきました。そして、初心者の受け入れ体制があり、武道ツーリズムに借りたい道場や教室を複数に、当組織のホームページに掲載しました。これが武道ツーリズム再スタートの第一歩といった感じです。

— 道場や教室へ働きかけるにあたり、心がけていたことは？

自分が行ける道場には直接伺い、道場主の方とお話することを心がけていました。これはやってみると感じていました。

道場や教室といっても、運営状況はさまざまです。自分の道場を構えて教えている方もいますが、武道だけで生計を立てるのは難しい状況にあります。要は、別業は別の仕事をしていて、週に数回、夜に市内の体育館や公民館で教室を開いている方です。むしろ、そうしたケースがほとんどでした。そういう方は、ビジネス面で武道ツーリズムに興味を持つというよりは、武道を広めたいという熱意があり、国外から来た方にもぜひ武道の良さを伝えたいとおっしゃる方が多いんです。

そうした声を聞くことは活動の糧になりましたし、武道ツーリズムに駆け寄りモチベーションにも繋がりました。

また、道場主の方々と顔見知りになることで、例えば今後、道場主催で大会を開く際には、スポーツコミッションとして、大会誘致に協力することができます。地道な活動だとしても、お互いに信頼関係を作り、ネットワークを築いていくことが、今後の財産になっていくんですね。



金沢文化スポーツコミッション/ 後編・武道ツーリズム拡大期

【2月20日（火）公開】

- 2022年度モデル事業者
- 観光順応型コンテンツの形成事例
- 前編に続き、道場を巻き込み武道コンテンツの事業拡大をはかった事例として紹介

— 事業に取り組んでみて苦労した点は？

ビジネス感覚を道場主の方に向けていただくことでした。体験に来られた方には、武道の基本を教えることは大切ですが、立ち方や動き、しきたりといった基本的なことだけを教えても、その魅力をなかなか伝えることができません。柔道や空手だったら、かっこいい技や型をやってみたいと思うはずですし、弓道だったら大団円に矢を射ってみたいくなるはず。体験音や言葉で教えるだけでは伝わりません。ツーリズムに繋げていくこともできません。体験では費用をもらわないという道場主の方も多かったのですが、そうではなく、相手に喜ばせて謝礼をもらい、長く続けていくためにもビジネスにすることを考えて欲しいと、道場を回りながら何度も説明しました。これは、私自身が金沢だけに、国内のさまざまな武道体験をしてみたいと感じることがあります。例えば、私が武道の素人らしさをより実感したのは合気道体験です。廻りという技は、立ち角度によっていつも簡単に相手に投げ飛ばすことができます。そうした道理にかなった技を見て武道の奥深さに感動しました。列陣の方に自分でもできる護身術を伝えたら、きっと喜ばれるはず。金沢の伝統文化やまちの魅力ともぜひ武道に親しんでいただけたらという想いで、道場主の皆さんとお話しています。

— 事業に取り組んでみたあとの道場主の皆さんの反応は？

「また何かあったら紹介してほしい」というお声をいただくことが度々あります。事業を再スタートした2022年は、まだコロナ禍で自粛されていた道場や教室も多い状況でした。ですが、2023年頃から再開されたところが多かったです。道場や教室の方から、「あのとき、武道ツーリズムを熱心に紹介してくれてありがとう」とか「あれから50人も体験に来たよ」という声をいただくこともあり、うれしく感じています。



私たち自身は非営利団体なので、実際やっていることは、あくまで道場や教室のサポートをすることです。私たちがなくても、道場や教室がビジネスという観点から自ら進んでいくことが目的なので、その一歩となる反応をいただけたのかなと思っています。

— 今後、どんなことに挑戦していきたいですか？

今の課題は武道ツーリズムに繋げるにあたり、飛び込みで体験に来られた方に対してすぐに受け入れられない道場が多いこと。とても前向きに感じていることとして、今後ビジネスとして成り立っていく道場が増え、飛び込みの方も受け入れられる体制を作っていけたらと思っています。あとは、今後さらに金沢の武道ツーリズムが拡大し、私たちの活動事例を広めていくことで、ほかの地域でも武道ツーリズムを立ち上げたいと思った方が増えてほしいですね。



里見浩次郎氏（金沢文化スポーツコミッション）

取組事例集
(PDF)

戻る

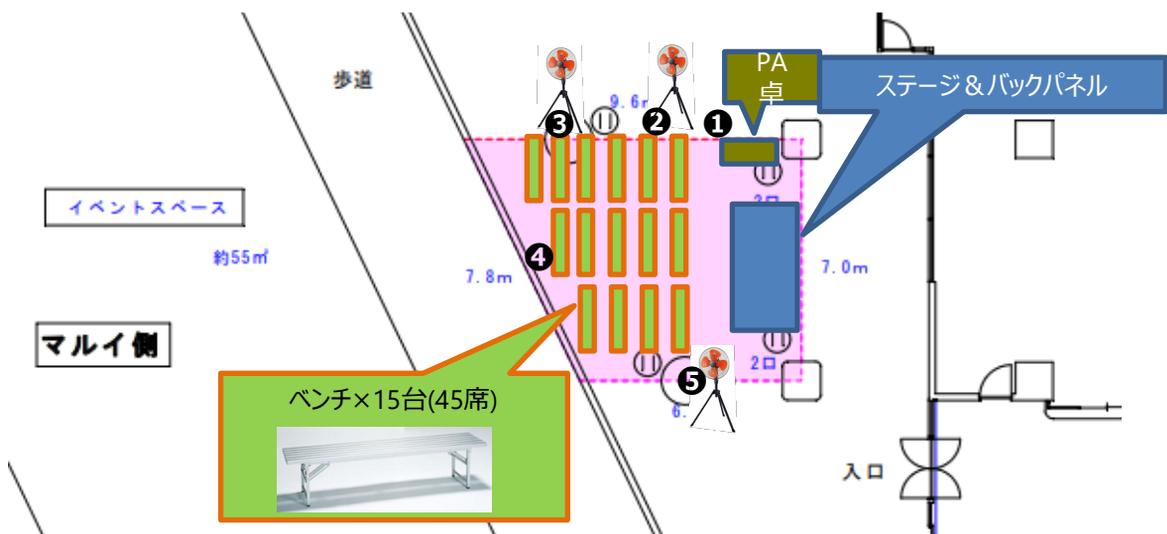
開催概要

- 名称 | BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO
～大人も子どももレッツチャレンジBUDO!～
- 日程 | 2023年8月17日(木) 11:00～17:00 (搬入8時30分から、撤去18時迄)
- 場所 | 東京交通会館 イベントスペース(1F)
*控室としてB2F第二会議室B、3F第一会議室B(グリーンルーム)を手配
*有楽町駅徒歩1分(JR有楽町駅前)
- 目的 | トークショー、および武道体験イベント等を通じた「武道ツーリズム」の認知拡大
- 対象 | 外国人観光客、武道に興味・関心のある方
- 展開案 | ステージ(+バックパネル)でプログラムを展開
①トークショー(*事前申込制) ②武道体験イベント(*一部、事前申込制)
- レイアウト |



【電源コンセント】

- ①音響用 ②扇風機用 ③扇風機用
- ④動画カメラ用 ⑤扇風機用



スケジュール

TIME	全体	運営スタッフ	イベントスペース	控室 B2F	控室 3F
8:00	会場設営 各種準備 8:00-11:00	集合 8:45	会場搬入・設営 8:30-10:30		
9:00		各会場にて準備 9:00-10:45			控室準備 9:00-10:00
10:00		司会入り 9:30		武道体験①準備 10:30-11:00	
		10:45 オールスタンバイ			
11:00		11:00 開場			
11:00	武道体験① SUMO 11:00-12:00	各会場にて 来場者・ 関係者 対応	武道体験① SUMO 11:00-12:00		
12:00			レイアウト変更・ 武道体験②準備 12:00-12:30		武道体験②事業者様 来場→会場入
13:00	武道体験② NINJA 13:00-14:00		11:00- 17:00	武道体験② NINJA 13:00-14:00	(控室準備) 長官・トークゲスト 来場
14:00		トークショー 受付・誘導 14:00-14:30	レイアウト変更・ トークショー準備 14:00-14:30	事前打ち合わせ 13:10-13:40	武道体験①② 事業者様退場
15:00	スポーツ庁長官 トークショー 14:30~15:00	カ士・忍者 ふれあいタイム	スポーツ庁長官 トークショー 14:30-15:00	事前打合せ (東口氏と司会)	武道体験③事業者様 来場→会場入
16:00	武道体験③ BIF 15:30-16:00 16:00-16:30		レイアウト変更・ 武道体験③準備 15:00-15:30	長官・トークゲスト 退場	
17:00			武道体験③ BIF 15:30-16:00 16:00-16:30		
		17:00 閉場			
18:00		撤収作業 17:00-18:00	撤収作業 17:00-18:00	17時完全退室	武道体験③ 事業者様退場
		18時完全退館			
19:00					撤収作業 17:30-18:00
					18時完全退室

プログラム

①スポーツ庁長官×武道関係者によるトークショー(14:30~15:00)

MCの進行で長官と武道関係者・実践者による30分程度のトークショーを実施。

【トークショー出演者】

①日野武道研究所代表 日野晃 氏

武道・日本武術を研究する日野武道研究所を主宰。
国内外で武道ワークショップを開催し、著書・DVDも多数。

②BABジャパン代表取締役／編集長 東口敏郎 氏

現在の武道界のオピニオンリーダー的存在と言われている
「月間秘伝」を始め、多くの武道関連雑誌の編集長を歴任。



【参加方法】

- ・Peatixにて事前募集（定員35名／先着順）＊空きがあれば当日観覧可能
- ＊1回で2名迄の申し込み可能（本人＋同伴者1名）
- ・参加者取得情報は氏名／メールアドレス（本人、同伴者とも）
- ・申込期限は8月17日14時（※開演30分前）
- ・本番URL：https://budo-tourism02.peatix.com

事前申込数：
47名

Peatix イベント検索

ログイン | 新規登録

8月17 BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO ~大人も子どももレッツチャレンジBUDO! ~ スポーツ庁長官 x 武道関係者によるトークショー

お気に入り 共有

(木) 14:30 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 | By スポーツツーリズムコンテンツ創出事務局

スポーツ/フィットネス | スポーツ | 健康 | 経営戦略 | 地方創生 | 観光

BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO~大人も子どももレッツチャレンジBUDO! ~
スポーツ庁室伏長官と武道関係者・実践者によるトークショーを開催します。

チケット
参加券

【トークショー参加予定者】

①日野武道研究所代表 日野晃 氏
武道・日本武術を研究する日野武道研究所を主宰。
国内外で武道ワークショップを開催し、著書・DVDも多数。

②BABジャパン代表取締役／編集長 東口敏郎 氏
現在の武道界のオピニオンリーダー的存在と言われている
「月間秘伝」を始め、多くの武道関連雑誌の編集長を歴任。

日時
2023/08/17 (木)
14:30 - 15:00 JST
カレンダーに追加

場所
東京交通会館 1Fイベントスペース
東京都千代田区有楽町2-10-1 日本
地図を見る

主催者
スポーツツーリズムコンテンツ創出事務局
フォロワー数: 1

主催者へ連絡

フォロー

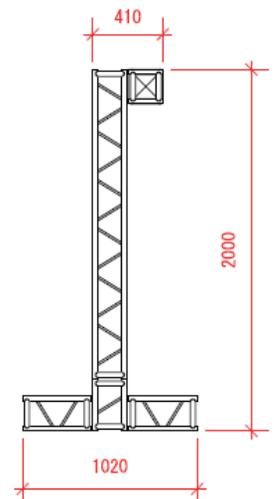
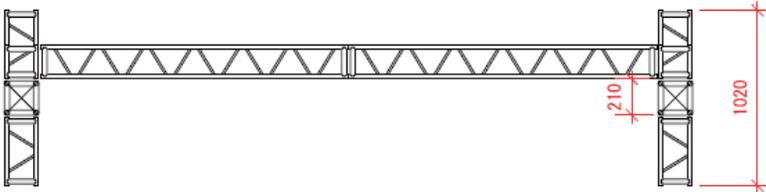


販売期限: 2023/08/17 14:00:00

チケットを申し込む

ステージ

- ・バックパネルはW3600×H2000で作成（ターポリン素材、トラス組み）
- ・ステージ部分（W3600×D1800）の高さは上げず、赤パンチカーペット敷きで対応（イベント内容を鑑み、段差をつくらずに安全面に配慮）



イベント風景



プログラム

② 武道体験イベント

訪日外国人／子供（ファミリー）をターゲットにした「する・見る」武道体験。

武道体験①（11：00～12：00） 相撲触れ合い体験／SUMO DEMONSTRATION

訪日外国人の関心を引きやすい、元力士によるデモンストレーションと写真撮影を実施。
 連携事業者：お相撲さんドットコム [お相撲さんドットコム \(osumo-3.com\)](http://osumo-3.com)

【実施内容（所要時間60分間）】

- ①元力士2名による、相撲・稽古の基本動作
四股・すり足・股割りなどを司会者の進行に合わせて実施。
- ②元力士2名による、決まり手（技）のご紹介
相撲においてどのような場合に勝負が決するかご説明。また、代表的な決まり手を3手、披露。
- ③元力士2名による、相撲における禁じ手・反則技のご紹介
- ④元力士2名による真剣三番勝負
お客様へどちらが勝つか等アンケートを取りながら、盛り上げる。
- ⑤お客様による元力士へのチャレンジ（大変好評を得ているコーナー）
お客様に相撲スーツ（着ぐるみ）を着用していただき元力士へ挑戦していただく。
- ⑥記念撮影

【要員数】

元力士2名＋スタッフ1名



* 画像はイメージ

【参加観覧方法】

- ・当日参加
- ・開始30分前頃から司会による告知またはスタッフによる誘客を適宜、行う

【出演者情報】

- ・会場入り時間：9時30分
- ・車両1台あり⇒※地下2F有料駐車場NO.30～37のバリケードを設置しているスペースに駐車
- ・着替えあり、更衣スペース使用

【音響】

- ・マイク1本
- ・持込みBGMあり（＊ 아이폰ジャック必要）

イベント風景



プログラム

② 武道体験イベント

武道体験② (13:00~14:00) 忍者体験/NINJA Experience

* 画像はイメージ

演武、忍者体験と写真撮影等を実施。

連携事業者：Musashi Ninja Clan [武蔵忍士団 \(musashi.ninja\)](http://musashi.ninja)

【プログラム】

BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO ~大人も子どももレッツチャレンジBUDO!~									
	SCINE	TIME	MC	出演	英語対応	アクション	ナレーション(英語/日本語)こあゆ	BGM	備考
1	開始前	12:50	○						
2	スタート	13:00	○			さあ、ここからは武蔵一族による忍者体験となります。			
3	オープニング	13:00		相模	こあゆ	相模登場 正座にて待つ	■こあゆによるイントロダクション 忍者とは 武蔵一族とは	1	
4	瞑想			相模	こあゆ	瞑想	・九字について簡単に説明	1	
	九字印			習志野	こあゆ	九字印		1	
5	演武			相模・習志野	こあゆ	■相模師範、習志野師範による演武 居合 相模 鎖分銅 習志野 刀対鎖分銅 大太刀 相模 手裏剣 習志野	武器使用の演武の際の武器の紹介 などを英語対応	2	
6	忍者のトレーニングについて 説明と紹介デモンストレーション			習志野	こあゆ	忍者のトレーニング(体幹を中心に)について解説 (習志野) 体術のデモンストレーション(習志野)	こあゆ英語対応	3	説明と実践紹介は相模と習志野にお任せ
7	体験	13:30~		相模・習志野	こあゆ	会場にいられているお客様を壇上へ上げて <体験内容> ①刀印で身体の軸を作る デモ: 気合 ②忍び足 デモ: 四足 ジャンプ ③五感集中訓練 ・前から声をかけて打ち込むのを受ける ・後ろから声をかけて打ち込むのを受ける	解説は相模&習志野でおこなう 通訳はこあゆ	3	
8	写真撮影			相模・習志野		希望者に忍者と写真撮影(外国人、親子?子供?)	写真撮影対応は大観	3	現場の流れで
9	終了	~14:00	○	相模・習志野	こあゆ	一旦終了 MC締め		4	14時で一旦終了となりますが、トークショーまでのつなぎもあるので、そのまま続けるか、一旦引っこ込み再度おこなうかは現場で判断する
10	室伏長官トークショーまでのつなぎ	~14:25		相模・習志野	こあゆ	室伏長官トークショーまでのつなぎ ・手裏剣体験(ゴム手裏剣)		2	トークショー参加申し込みの方に体験をしてもらおう?

<準備物>
 ・BGM(フリー素材)※データ形式でJCDIに送る
 ・手裏剣用の(断熱材 900×900)
 ・忍具一式
 ・武蔵一族案内チラシ

【参加観覧方法】

- ・当日参加
- ・開始30分前頃から司会による告知、
またはスタッフによる誘客を適宜、行う
- ※演武のため前方2列の座席撤去予定

【出演者情報】

- ・会場入り時間：12時
- ・車両なし
- ・着替えあり、更衣スペース使用
- ※PR用チラシ配布あり

【音響】

- ・マイク2本(説明者用+忍者用)
- ・持込みBGMあり(データ形式)



イベント風景



プログラム

② 武道体験イベント

武道体験③ (15:30~16:30) 武道×フィットネス『B.I.F BY NERGY』

日本人女性ならではの“凛とした美しさ”を追求し、「武道」をコンセプトに生まれた日本発の新境地フィットネス。空手・武道初級者でもチャレンジしやすい体験を提供します。

連携事業者：NERGY [WHATS BIF -BIFについて](#) | [B.I.F BY NERGY](#)

【実施内容（所要時間30分間×2セット）】

※靴を履いたままの体験になります。

- ① 空手の説明・ウォーミングアップ
- ② 空手に必要な体幹のトレーニング
肩甲骨・肋骨・股関節を意識したトレーニング
- ③ その場突き
- ④ 前屈立ち、逆突き
- ⑤ その場蹴り
- ⑥ 音楽に合わせて演武
- ⑦ 質疑応答
- ⑧ 記念撮影

【要員数】

インストラクター1名、同行者3~4名



B.I.F PROGRAM FLOW

基本は「姿勢」と「呼吸」、そして「瞑想」

01	02	03
黙想	礼	準備運動
外側にある意識を内側に内けて、集中を高めていく。	礼に始まり礼に終わる武道。尊敬と感謝の念を込めた姿勢を正していく。	基本の立ち方や空手の形を伝授。体幹の安定に必要な筋肉にアプローチしながら心拍数を上げる。

* HPより

プログラム

② 武道体験イベント

武道体験③ (15:30~16:30) 武道×フィットネス『B.I.F BY NERGY』

【参加観覧方法】

・Peatixにて事前募集 (定員①15時30分×10名+②16時×10名=合計20名/先着順)

* 空きがあれば当日参加可能

* 1回で2名迄の申し込み可能 (本人+同伴者1名)

・参加者取得情報は氏名/メールアドレス (本人、同伴者とも)

・申込期限は8月17日15時 (※開演30分前)

・本番URL : <https://budo-tourism03.peatix.com>

※1つのURLで2つの時間を記載できないため、イベント時間を15時30分-16時30分と記載し、申込画面で15時30分の回/16時の回を選択できるように設定

※演武のためすべての座席撤去

※道着のレンタルあり (上下または上着のみ/着用は任意) ⇒着替えはトイレを利用していただく

【出演者情報】

・会場入り時間 : 14時30分 ・車両なし

・着替えあり、更衣室使用

事前申込数 :

①12名/②11名

【音響】

・ヘッドセットマイク使用

・持込みBGMあり (iPhone使用予定)

Peatix
イベント検索
ログイン | 新規登録

8月
17

BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO ~大人も子どももレッツチャレンジBUDO! ~武道 x フィットネス 『B.I.F BY NERGY』

(木) 15:30 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 | By スポーツリズムコンテンツ創出事務局

お気に入り 共有

スポーツ/フィットネス
スポーツ
フィットネス
健康
ストレッチ
リラクゼーション

日本人女性ならではの"凛とした美しさ"を追求し、「武道」をコンセプトに生まれた日本発の新境地フィットネス。空手・武道初級者でも気軽に体験できます。

1回目: 15時30分~ (30分間)
2回目: 16時00分~ (30分間)

【実施内容】※予定
①正座・礼・黙想
②ストレッチ、体幹トレーニング
③その場突きの練習
④前屈立ち/逆突き/その場蹴り
⑤蹴りの練習
⑥通し演武
⑦体側ストレッチ/前後屈
⑧正座・黙想・道場訓・礼

※当日は動きやすい服装にてご参加ください。

🎫 チケット

【15:30~】参加券
【16:00~】参加券

📅 日時

2023/08/17 (木)
15:30 - 16:30 JST
[カレンダーに追加](#)

📍 場所

東京交通会館 1Fイベントスペース
東京都千代田区有楽町2-10-1 日本
[地図を見る](#)

主催者
スポーツリズムコンテンツ創出事務局
フォロワー数: 1

主催者へ連絡

フォロー

イベント風景



制作物 (チラシ)

●日本語

BUDO TOURISM
BUDOふれあいフェスタ2023
in TOKYO
 大人も子どももレッツチャレンジBUDO!

参加無料

私も武道について語りつくします! みんな遊びに来てね!

8.17 11:00 ~ 17:00

場所: 東京交通会館 1F イベントスペース

「武道/BUDO」の認知拡大を目指すため
 スポーツ庁長官トークショー
 および武道体験イベントを実施いたします!

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY

BUDO TOURISM
BUDO FESTIVAL 2023
in TOKYO
 Let's try BUDO together!

I will talk about BUDO! Come and visit me!

8.17 11:00 ~ 17:00

Location: Tokyo Kotsu Kaikan 1F Event space
 Fee: Free of charge

「武道/BUDO」
 A talk show by the Director General of the Sports Agency and BUDO experience event will be held to increase awareness of BUDO.

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY

Commissioner, Japan Sports Agency: Koji Murofushi

プログラム内容

①相撲触れ合い体験 -SUMO DEMONSTRATION-

時間: 11:00~12:00 場所: イベントスペース
 元力士による相撲稽古の基本動作となる四股・すり足・股割りなどのデモンストレーションと写真撮影を実施します!



②忍者体験 -NINJA Experience-

時間: 13:00~14:00 場所: イベントスペース
 忍者の基本の技となる忍び足・手裏剣・刀等の体験と写真撮影を実施します!



③スポーツ庁長官×武道関係者によるトークショー

時間: 14:30~15:00 場所: イベントスペース
 司会者の進行で長官と武道関連の関係者・実践者による30分程度のトークショーを実施します!



④武道×フィットネス -B.I.F BY NERGY-

時間: 15:30~16:30 場所: イベントスペース
 日本人女性の「凛とした美しさ」を追求し、「武道」をコンセプトに生まれた日本発のフィットネス。空手・武道初級者でもチャレンジしやすい体験を実施します!



【予約方法】

① スポーツ庁長官×武道関係者によるトークショー
 ・14時半開始 (定員: 35名) 応募用QR→



④ 武道×フィットネス -B.I.F BY NERGY-
 ・15時半開始 (定員: 10名) 応募用QR→



・16時開始 (定員: 10名) 応募用QR→



※いずれも満席になり次第、受付終了となります。先着順となりますので、ご了承ください。
 【本事業に関するお問い合わせ先】株式会社JTBコミュニケーションデザイン TEL: 03-5657-0618

●英語

BUDO TOURISM
BUDO FESTIVAL 2023
in TOKYO
 Let's try BUDO together!

I will talk about BUDO! Come and visit me!

8.17 11:00 ~ 17:00

Location: Tokyo Kotsu Kaikan 1F Event space
 Fee: Free of charge

「武道/BUDO」
 A talk show by the Director General of the Sports Agency and BUDO experience event will be held to increase awareness of BUDO.

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY

Commissioner, Japan Sports Agency: Koji Murofushi

BUDO TOURISM
BUDO FESTIVAL 2023
in TOKYO
 Let's try BUDO together!

I will talk about BUDO! Come and visit me!

8.17 11:00 ~ 17:00

Location: Tokyo Kotsu Kaikan 1F Event space
 Fee: Free of charge

「武道/BUDO」
 A talk show by the Director General of the Sports Agency and BUDO experience event will be held to increase awareness of BUDO.

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY

Commissioner, Japan Sports Agency: Koji Murofushi

PROGRAMME

① SUMO DEMONSTRATION

Time: 11:00~12:00
 Demonstrations by former rikishi of the basic movements of sumo practice such as hikata, surisoku etc. and a photo opportunity!



② NINJA EXPERIENCE

Time: 13:00~14:00
 Photo shooting and experience of basic skills such as ninjutsu, shuriken and sword fighting!



③ BUDO TALK SHOW

Time: 14:30~15:00
 Talk show between the Director General of the Sports Agency and BUDO-related officials and practitioners.



④ BUDO X FITNESS -B.I.F BY NERGY-

Time: 15:30~16:30
 Experience Japanese-born fitness created based on the concept of BUDO. All beginners will also be able to try it out!



*All program will be held at Event space (1F)

【BOOKING】

③BUDO TALK SHOW
 ・14:30 (Capacity: 35px)



Booking from here→

④BUDO X FITNESS -B.I.F BY NERGY-
 ・15:30 (Capacity: 10px)
 ・16:00 (Capacity: 10px)



Booking from here→

※Please note that this is on a first-come, first-served basis. Applications will close as soon as capacity is reached.

【Inquiry】JTB Communication Design, Inc. TEL: +81-3-5657-0618

制作物（パネル）

●B2サイズ・イーゼル立て

武道ツーリズムとは？



スポーツ庁

武道(BUDO)ツーリズムとは
“発祥の地”である“日本でしか体験できない”、
スポーツと文化(伝統文化・精神文化)が融合した
希少性の高いツーリズムです！

スポーツ庁ではスポーツ体験や観戦をアクティブに楽しみながら、各地域の魅力を満喫するスポーツツーリズムを推進しています！

レッツチャレンジBUDO!

● おうちで楽しめる武道動画 ●



武道ツーリズムの
魅力が詰まった
プロモーション動画です



BUDO Tourism Japan
— The Spirits of BUDO



360度VR動画で
日本発祥の武道を
是非ご体験ください！



BUDO Tourism Japan
— 360° VR Video

● 武道ツーリズムの最新情報はこちらから！ ●

スポーツ庁のJAPAN SPORT TOURISMサイトで、武道ツーリズムの魅力をより深く知ろう！



武道ツーリズム |
JAPAN SPORT TOURISM
<https://sporttourism-japan.com>







事前告知対応

①スポーツ庁WEBサイトでのプレスリリース

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1398629_0002.htm

②スポーツ庁 武道ツーリズム推進ネットワークSNSでの情報発信

<https://www.facebook.com/budo.tourism.japansportsagency>

<https://www.instagram.com/budo.tourism.japansportsagency/>

③BABジャパン Web秘伝WEBサイトでの情報発信

<https://webhiden.jp/topics/budo-hureai-festa2023/>

④JSTA（一般社団法人 日本スポーツツーリズム推進機構）メールマガジン配信

④都内観光案内所、および旅行代理店でのチラシ設置

- 東京観光情報センター（都庁、バスタ、上野、羽田空港、多摩）：日本語100部・英語100部
- 浅草文化観光センター：日本語10部・英語30部
- 中央区観光情報センター：日本語20部・英語20部
- 東京シティアイ：日本語110部・英語180部
- JTB有楽町支店：日本語20部・英語10部

【JSTA情報提供】8/17開催「BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO」のご案内

JSTAメールマガジン
(mailchimpapp.netから)
2023/08/15 (水) 10:47
宛先: 加茂下 敦馬 (UCD) <kamoshi3353@tbc.com.co.jp>
各位

平素よりお世話になっております。|
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構事務局 (JSTA事務局) です。

表題につきまして、情報共有いたします。

8月17日(木)に有楽町駅前の東京交通会館・イベントスペースにて、
武道ツーリズムイベント「BUDOふれあいフェスタ2023」を開催します。
ご興味のある方は是非会場まで足をお運びください!

▼スポーツ庁内リリースサイト (チラシPDFへのリンクあり)
<https://sports.tourism.us6.list-manage.com/track/click?u=24f55025f735a33d64916ba178&id=6011fe45af8&e=ed480155f3>

◆イベント: BUDOふれあいフェスタ2023 in TOKYO ~ 大人も子どももレッツチャレンジBUDO! ~
◆日時: 2023年8月17日(木) 11時~17時
◆場所: 東京交通会館 1F イベントスペース
<https://www.kotsuka.kan.co.jp/access/>

◆実施目的:
武道ツーリズムの認知拡大を目的に、ライト層からコア層まで幅広く武道と触れる機会を提供します。
エンターテインメント性のある体験イベントから、他では聞くことのできない武道トークショーまで、
幅広いお客様に武道に触れ、知っていただける機会を創出致します。

◆プログラム構成
①11:00~12:00 元力士との「相撲触れ合い体験」
②13:00~14:00 武蔵一族「忍者体験」
③14:30~15:00 スポーツ庁長官×武道関係者によるトークショー (事前予約制)
④15:30~16:30 武道×フィットネス・B.I.FBYENERGY- (事前予約制)

③④は事前予約制となりますので、下記URLよりお申し込み下さい。
○「トークショー」チケット申し込みページ
<https://budo-tourism02.peatix.com/>
○「武道×フィットネス」チケット申し込みページ
<https://budo-tourism03.peatix.com/>

※不眠点かごさいましたら、下記担当までご連絡下さい



開催概要



ツーリズムEXPOジャパン (TEJ) は「世界の観光・ツーリズムをリードする」総合観光イベント。さまざまな産業界関係者が「観光」を軸に集結し、国内・海外・訪日の観光振興、地域活性化を目指し、ビジネスの場としての展示商談会、消費者向けのプロモーション、ダイレクトマーケティングの機会を提供。

名 称	ツーリズムEXPOジャパン2023 (英 : Tourism EXPO Japan 2023)
開催日程	2023年10月26日 (木) ~29日 (日) ※4日間 【業界日】 ●10月26日 (木) 10:00-17:00 ●10月27日 (金) 10:00-18:00 【一般日】 ●10月28日 (土) 10:00-18:00 ●10月29日 (日) 10:00-17:00
会場情報	インテックス大阪 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102
主催	公益社団法人日本観光振興協会 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 日本政府観光局 (JNTO)
特別協力	一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)
来場見込み	合計150,000名 (業界日 : 50,000名、一般日 : 100,000名)
合同開催	VISIT JAPAN トラベル& MICEマート (VJTM) 2022 < 主催 : 日本政府観光局 (JNTO) > ■ 会期10月26日 (木) ~28日 (土)
同時開催	トラベルソリューション展2023 (TS展) < 共催 : 日本経済新聞社 > ■ 会期10月26日 (木) ・27日 (金)
ブース面積	W2m×D2m = 4㎡×2小間
企画運営	ツーリズムEXPOジャパン推進室 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通霞が関ビル4F TEL : 03-5510-2004 FAX : 03-5510-2012 ■ 公式サイト ・業界向け/一般向けWEBサイト (https://www.t-expo.jp) ■ 公式SNS ・ツーリズムEXPOジャパン共通Facebook ▶ @texpoJapan ・ツーリズムEXPOジャパン共通X (Twitter) ▶ @t_expo ・ツーリズムEXPOジャパン共通Instagram ▶ @tourism_expo_japan

会場概要

□ 会場全体図

公式行事 国際会議ホール (センタービル内)

10/26
・基調講演
・UNWTO世界観光会議開幕式
・第6回TEJ観光大会会合

10/27
・テーマ別シンポジウム

公式行事 Aステータ (インタックスプラザ内)

10/26
・オープニングセレモニー
・ジャパン・ツーリズム・アワード表彰式
・主催者記者会見
・Welcome Reception

10/27
・ツーリズムプロフェッショナルセミナー

10/29
・閉会式/グランドフィナーレ

展示商談会場 展示場2号館～6号館ABゾーン

10/26
・ツーリズムプロフェッショナルセミナー
・展示商談会 (業界日)

10/27
・ツーリズムプロフェッショナルセミナー
・展示商談会 (業界日)
・トラベルレビューショー2023
・出展前レセプション

10/28
・展示会 (一般日)

10/29
・展示会 (一般日)

展示場6号館Dゾーン (3F)

合同開催：10月26日(木)～28日(土)
「VISIT JAPAN トラベル & MICE マーケット (VJTM) 2023」

□ 会場周辺道路MAP

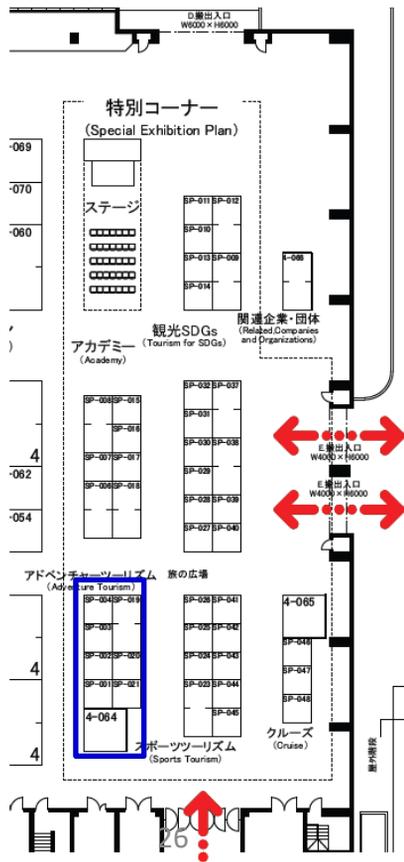


会場MAP&ブース位置



会場案内拡大図

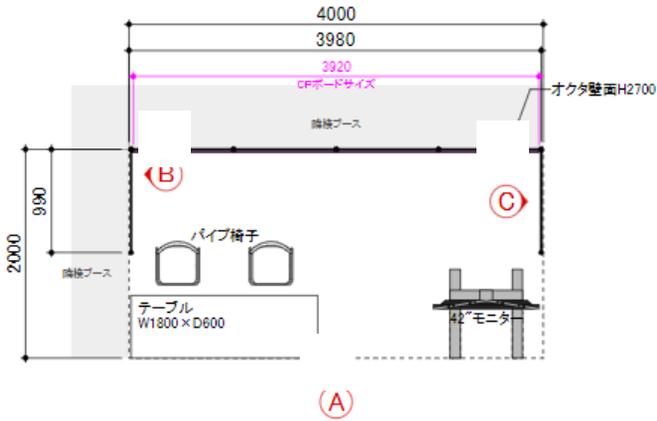
4号館/特別コーナー



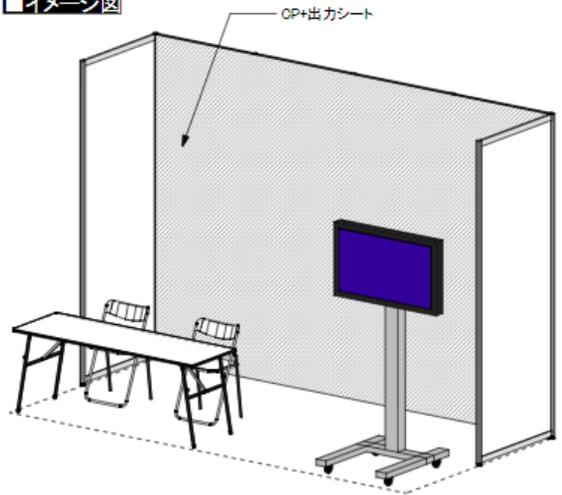
ブース装飾

出展位置	4号館 特別コーナー
ブース番号	SP-019
ブース面積	W2m×D2m = 4㎡×2小間

■平面図



■イメージ図



◆ブース風景



出展目的とコンテンツ展開①

武道ツーリズム未取組者への関心喚起・意向層への支援による「取組者の拡大」

武道ツーリズムの認知拡大を図るため、事業目的をしっかりと紹介。動画やポスター、パンフレット等、事業者等より集め、情報発信スペースとしての役割を果たしていく。

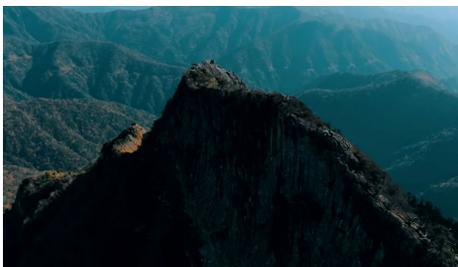


モニターで動画を放映

モニターでは、過去に制作した動画3本をループで放映。また、スポーツ庁プレゼン・事業者プレゼン時には、PPTスライドを投影した。



BUDO Tourism Japan
- The Spirits of BUDO



Outdoor Sports Tourism Japan
- Feel The Force of Nature



Snow Sports Tourism –
Discover your snow story

ブースプログラムパネル (B4)

武道
ツーリズム
チラシ
(A4)

スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY		ブースプログラムのご案内		BUDO	
業 界 日	10月26日 (木)	VR体験 VR動画ヘッドセットを利用した360°動画体験。武道の世界観をぜひVRで！※随時受付	スポーツ庁プレゼン [12:00~12:20] テーマ: スポーツツーリズムの現状について	武道事業者プレゼン [13:30~13:50] テーマ: 京都の合気道道場運営者から見た武道ツーリズムの可能性 プレゼンター: 合気道 合心館道場長 小川 広樹様	
	10月27日 (金)	VRゴーグルプレゼント アンケートご回答で、オリジナルVR動画ゴーグルをプレゼント！ ※随時受付/各日先着50名様	スポーツ庁プレゼン [14:00~14:20] テーマ: スポーツツーリズムの現状について	武道事業者プレゼン [15:00~15:20] テーマ: 京都居合道・田辺合気道事例紹介と武道ツーリズムをもたらし新たな兆し プレゼンター: (株)Waraku 田端 眞人様・(株)TABIKIYO JAPAN 羽田 明史様	
一 般 日	10月28日 (土) 10月29日 (日)	スポーツ庁プレゼン・武道事業者プレゼン ご参加の方には スポーツ庁オリジナルキーホルダー をプレゼント！			

